

令和元年度第3回 北九州市上下水道事業検討会 会議要旨

【日 時】 令和元年10月31日(木) 10:00~11:00

【場 所】 812会議室(小倉北区役所庁舎東棟8階)

【構 成 員】 小畑構成員、菊池構成員、多久和構成員、福地構成員
三上構成員、宮内構成員、柳井構成員、吉本構成員 [50音順]

【出席職員】 上下水道局長、総務経営部長、海外事業部長、下水道部長、下水道施設担当部長
総務課長、経営企画課長、海外事業課長、計画課長、配水管理課長、浄水課長
下水道計画課長、施設課長、経営企画課(事務局)

《議題及び報告》

◇議題

次期基本計画の基本理念と目指すべき将来像について事務局から説明

◆議題に関する質疑応答・意見

(構成員)

まず、2ページの3段落2行目の「災害時においても市民生活を支える」という言い回しについて、今後、想定外だけでなく、想定内でも出来ないことが出てくると思いますので、「災害時においても極力、市民生活を支える」という言い回しに変更することを検討していただければと思います。

次に、3ページの「7 健全な経営を行う」の説明文「お客さまへ質の高いサービスを提供するとともに」について、出来ないこともあると思いますので、「お客さまへ質の高いサービスを提供しつつ」という表現にすることを検討していただければと思います。

最後に、4ページの課題「3 施設の老朽化への対応」の将来像について、「7 健全な経営を行う」の追加を検討していただければと思います。

(事務局)

ご意見について、検討したいと思います。

(構成員)

3ページの「5 お客さまが求めるものをかたちにする」の説明文「多様化するお客さまのニーズ」について、「おいしい水」はニーズの一つだと思いますが、他に何を想定しているか伺います。

(事務局)

分かりやすい広報、自然災害への対応等安全への取組、安価または適正な料金等、各種想定をしています。

(構成員)

まず、2ページの基本理念について、簡潔で、良く纏まっており、大変良いと思います。

次に、3ページの「2 いつでも安心して飲める水を届ける」について、安心して飲める水ということは安全な水ということですので、「安全な水」という言葉を追加していただければと思います。

最後に、3ページの「4 国内外へ貢献していく」の説明文「相互発展していく」について、市民の方々が見たときに意味が分かりにくいのではないかと思います。恐らく、広域化や海外への技術支援の結果、北九州市にフィードバックして同時発展していく、という意味だと思いますが、そのような意味が伝わりにくいと思いますので、もう少し分かりやすい説明文にした方が良いと思います。

(事務局)

基本理念について、ご評価いただき、有難うございます。

また、ご意見について、検討したいと思います。

(構成員)

2ページの基本理念の「理由」について、広域連携や海外事業の視点が触れられていないように見えますが、どのようにお考えか伺います。

(事務局)

2段落2行目の「技術の継承」に含んでいます。

(構成員)

基本理念と「目指すべき将来像」は紐付けされていないと思いますので、基本理念の「理由」に広域連携や海外事業の視点を明確に記載した方が良いと思います。ご検討ください。

また、基本理念自体は、非常に良いと思います。

その他、1ページの「骨子(案)」の全体の構成について、第4章が「基本理念」になっていますが、通常、計画は最初に「基本理念」、その後に「現状」、「将来像」の構成が多いと思いますので、もし順序に明確な根拠が無いようでしたら、最初に「基本理念」とするよう検討していただけたらと思います。

◇報告

令和元年度国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)受賞について事務局から説明

◆報告に関する質疑応答・意見

(構成員)

受賞おめでとうございます。市民としても、このような賞を受賞したことを是非知りたいと思っています。同時期に受賞した福岡市は、市役所の1階で展示すると伺いましたので、是非北九州市も同様に展示していただけたら良いと思います。

(構成員)

受賞、心よりお祝い申し上げます。今後の広報活動について意見を申し上げます。昨年、下水道100周年記念事業の「下水道展'18北九州」を見学して一番印象に残ったことは、多くの子どもた

ちが体験型アトラクションで目を輝かせながら楽しそうに学ぶ姿でした。先程、記念事業にとどまらず、下水道事業に対する市民の理解をさらに深めていきたいと事務局から報告がありましたが、以前は、子どもたちを対象に水辺の体験活動を通じて、下水道の役割の重要性を教えてくださいました。そこで、このような素晴らしい広報活動の手法を若い職員に継承していただき、魅力ある広報活動を継続して実施していただきたいと思います。参考情報ですが、福岡市は、「夏休み下水道たんけん隊」という事業で、小学生を対象に100名の隊員を募集するという大好評のイベントがあるそうです。例えば、市民の関心度を上げるために、「施設開放」を「施設探検ツアー」と言い換えるだけでもワクワク感が増すと思いますので、今後の職員の方のアイデアと行動力に期待いたします。

(事務局)

構成員のご意見のとおり、以前は、建設局の河川部門と共同でカヌー体験のような水辺の体験活動を実施していました。現在は、河川部門が水辺の体験活動を実施するときに併せて下水道のブースを出展する等、出来る限り連携して広報活動をするようにしていますが、今後、さらに効率的な手法も考えていきたいと思います。

(事務局)

その他、当局は夏休みに親子ふれあい教室（1日上下水道モニター）を実施しています。この事業は平成24年に開始して、今年で8回目になります。その内容は、上下水道施設の見学、きき水体験、わさびハウス・やまめの里の見学等で、毎年約40～50名の方々に参加していただいています。他にも、6月の「水道週間」、9月の「下水道の日」に併せて広報活動をしています。

(構成員)

広報について意見を申し上げます。上下水道事業は市全体の事業ですが、市民は本庁舎よりも区役所に出向くことが多いと思いますので、本庁舎だけでなく区役所でも広報活動を実施していただければと思います。

(構成員)

2点、意見を申し上げます。1点目は料金体系について、ある地方の郵便配達の場合ですが、ポツンと離れた一軒家に、近隣の拠点から30分以上かけて郵便物を配達しているにもかかわらず、一律料金ということは本来おかしいのではないかとされており、私もそのように思います。

2点目は先日の台風で関東地方の一部が断水になった際、人手不足という報道がなされていました。北九州市も職員が減ってきていますので、自衛隊の予備自衛官のように、元職員の方たちが災害時に関わられるような体制を整えていただければと思います。

(構成員)

水道事業は、以前は、安全・安心に安価がセットになっていましたが、最近、安価という言葉を使用していないため違和感を覚えていました。経営の観点から、先程の料金体系のご意見について検討の余地はあると思いますが、一方で公共性の観点から、命に関わるため社会全体で負担をするという考え方もあり、これらを十分理解しながらご議論をしていただければと思います。

(事務局)

料金体系について、公共性や受益者負担の原則、また、適正な価格という考え方があり、これらの視点で、いただいたご意見の案も含めて、総合的に勘案しながら検討していきたいと思います。

(事務局)

職員の人手不足について、市民の生活を守るためには、災害時は当然として、日頃からの技術の確保が大事だと思っていますので、ある程度の人件費は必要だと思っています。また、災害時に元職員を活用すれば、というご意見をいただきましたので、今後検討していきたいと思っています。

(事務局)

本日は、ありがとうございました。次期計画策定に向けて構成員の皆さまからご意見をいただく中で、やはり計画は分かりやすくお示しするべきだと思っています。それは、本市職員が読んで分かる、市民の皆さまも読んで分かる、そういった計画でなければご理解をいただけないと思っていますので、今後ともご意見をいただきたいと思っています。

今後は、この基本理念に基づき、具体的な施策をお示ししてご議論いただくこととなります。私どもの使命は、水の提供は当然ですが、最近是想定外と言われるような災害にも対応していかないとはいけません。市民の皆さまの生活を守る、安全を守る、財産を守る、という下支えが私どもの仕事だと思っていますが、一方でどこまで対応するのか、といった視点もごございますので、皆さまからご意見をいただきながら議論をしていきたいと思っています。何卒、宜しく願いいたします。ありがとうございました。